

2020年度 卒業生アンケート集計

I. 調査の概要

■調査対象：

令和2年3月卒業の卒業生のうち、進路が確定していた方 110名。

■調査方法：

調査対象者に郵送にてQRコードを載せたハガキを送付し、Googleフォームにて回答。

■調査期間：

令和2年12月14日～令和3年1月15日

■回収結果：

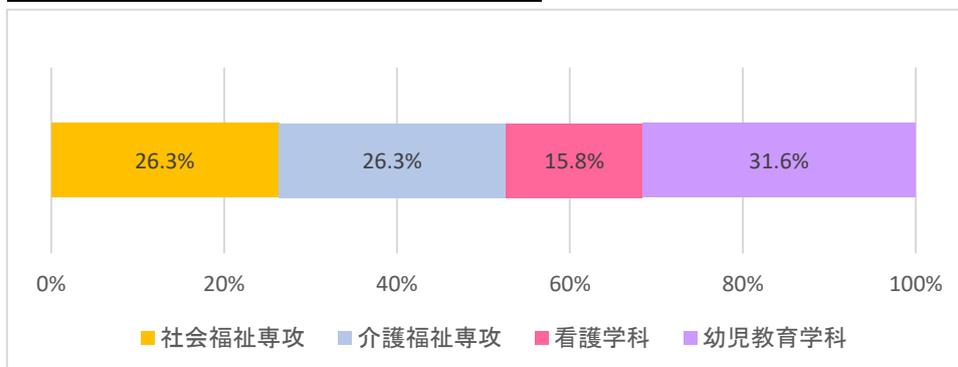
送付数：110件、回収数：19名（回収率 17.3%）

II. アンケート調査回答結果

1. 基本情報

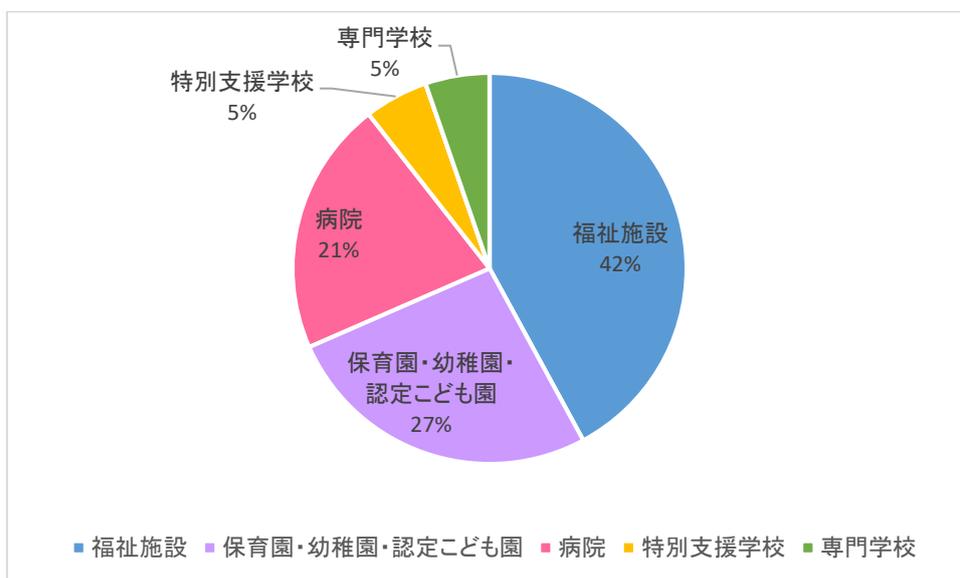
(1) 学科・専攻

	回答数	%
社会福祉専攻	5	26.3%
介護福祉専攻	5	26.3%
看護学科	3	15.8%
幼児教育学科	6	31.6%
全体	19	100.0%



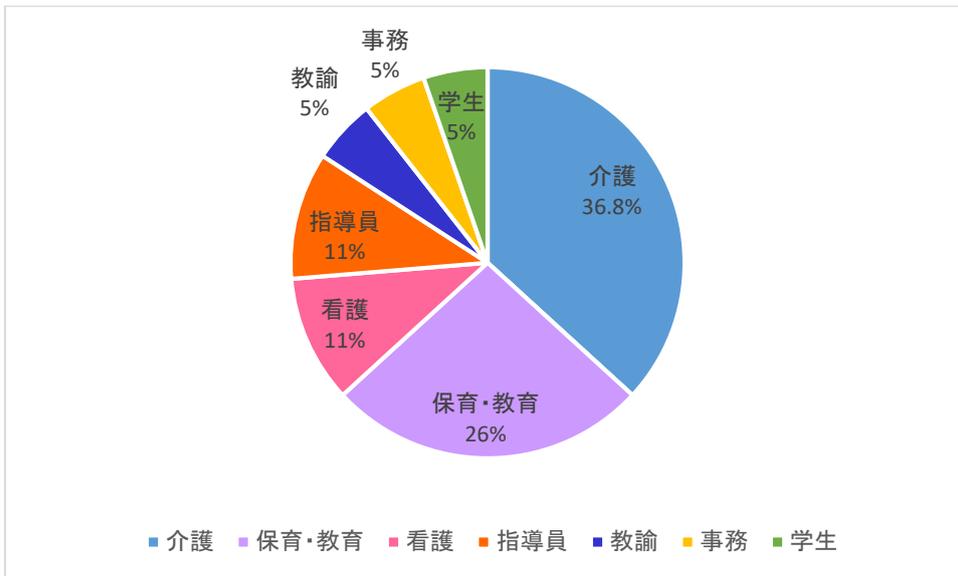
(2) 勤務先・進学先の種別

	回答数	%
福祉施設	8	42.1%
保育園・幼稚園・ 認定こども園	5	26.3%
病院	4	21.1%
特別支援学校	1	5.3%
専門学校	1	5.3%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	19	100.0%



(3) 主な業務内容

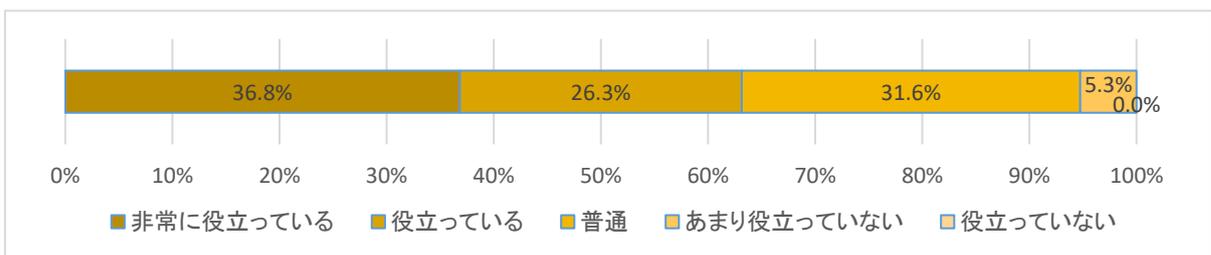
	回答数	%
介護	7	36.8%
相談	0	0.0%
保育・教育	5	26.3%
教諭	1	5.3%
看護	2	10.5%
指導員	2	10.5%
事務職	1	5.3%
営業	0	0.0%
学生	1	5.3%
その他	0	0.0%
全体	19	100.0%



2. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「講義全般」について

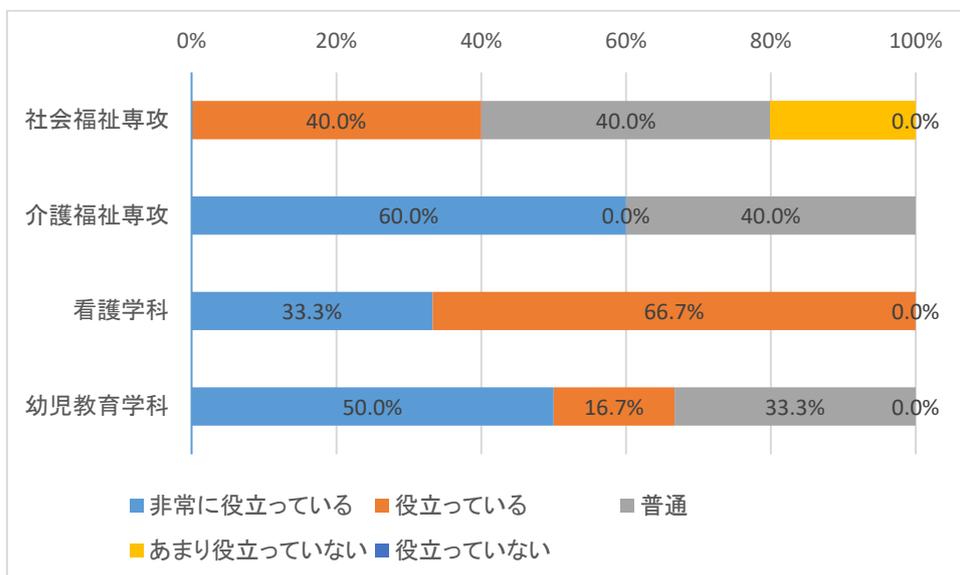
(1) 本学の講義内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	回答数	%
非常に役立っている	7	36.8%
役立っている	5	26.3%
普通	6	31.6%
あまり役立っていない	1	5.3%
役立っていない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	19	100.0%



	非常に役立っている	役立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	2	2	1	0	0	5
	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	3	0	2	0	0	0	5
	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

看護学科	1	2	0	0	0	0	3
	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	3	1	2	0	0	0	6
	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



(2) 現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容

【社会福祉専攻】

- ・障害者福祉論（2名）
- ・高齢者分野
- ・高齢者の支援と介護保険制度

【介護福祉専攻】

- ・全部
- ・生活支援技術（ベッド上での実技など）
- ・介護技術
- ・介護総合演習

【看護学科】

- ・母性看護学援助論
- ・看護技術の講義
- ・解剖生理

【幼児教育学科】

- ・小川先生と石津先生の授業
- ・宮越先生の授業
- ・障害児保育
- ・模擬保育、自主実習

(3) 講義について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」

【社会福祉専攻】

- ・現場の様子をもう少し知りたかった。
- ・相談援助技術論と現代社会をもう少し、深く学びたかった

【看護学科】

- ・薬理学

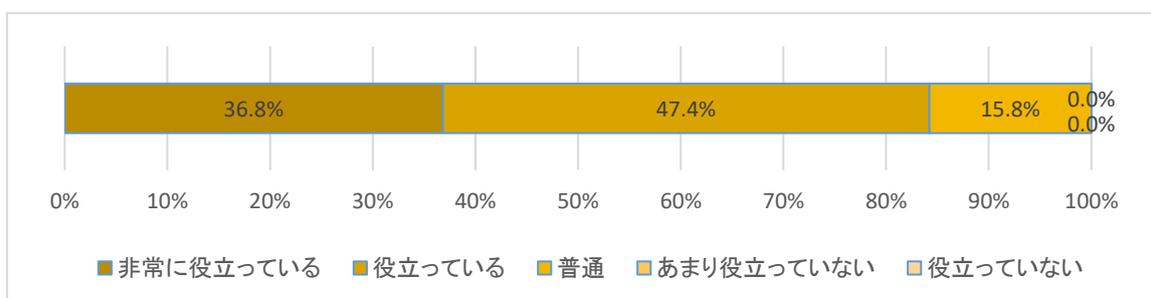
【幼児教育学科】

- ・障害児保育
- ・障害児の特徴 知識
- ・もっと、保育であった出来事の解決の仕方を学びたかった。

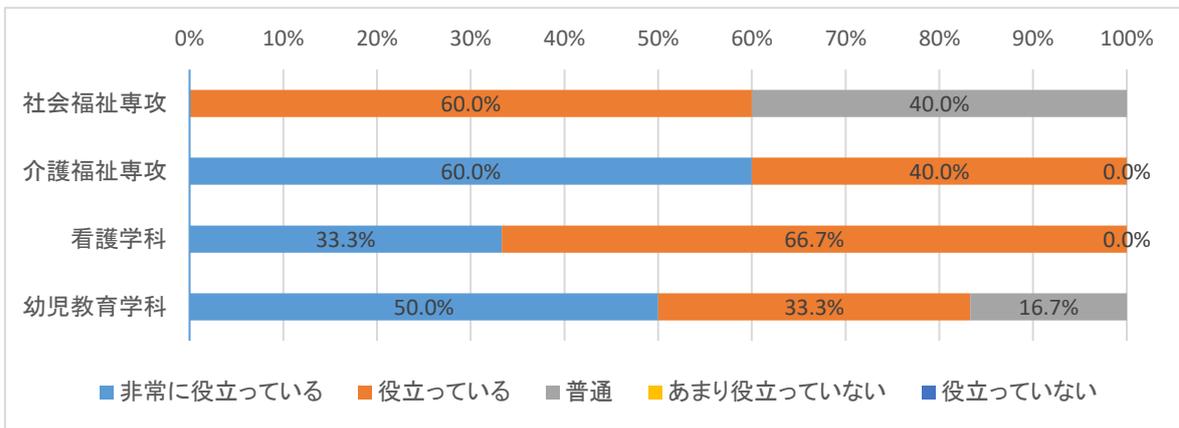
3. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「実習」について

(1) 本学の实習、実習指導内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	回答数	%
非常に役立っている	7	36.8%
役立っている	9	47.4%
普通	3	15.8%
あまり役立っていない	0	0.0%
役立っていない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	19	100.0%



	非常に役立っている	役立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	3	2	0	0	0	5
	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	3	2	0	0	0	0	5
	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
看護学科	1	2	0	0	0	0	3
	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	3	2	1	0	0	0	6
	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



(2) 現在の仕事に特に役立っていると思う実習・実習指導内容を教えてください。

【社会福祉専攻】

- ・相談援助実習
- ・利用者の個別性を大切にすること

【介護福祉専攻】

- ・介護実習
- ・移動の介助
- ・夜勤勤務
- ・どの介助も基礎をしっかり学ぶということを学びました。

【看護学科】

- ・実習の全て
- ・母性看護学実習
- ・領域実習で、様々な実習先に行けたことが良かった。

【幼児教育学科】

- ・全部
- ・部分実習

(3) 実習について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」

【社会福祉専攻】

- ・色々な分野の現場を体験してみたかった。

【幼児教育学科】

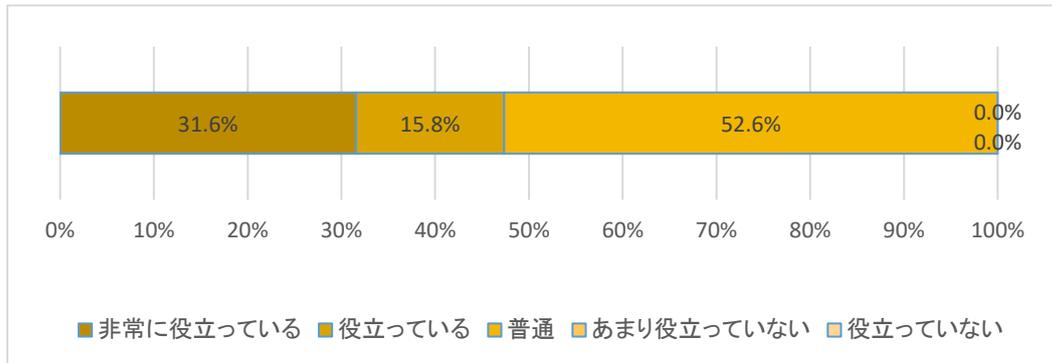
- ・障害児との関わり
- ・1日実習があればよかった

4. 本学の就職・進学支援体制

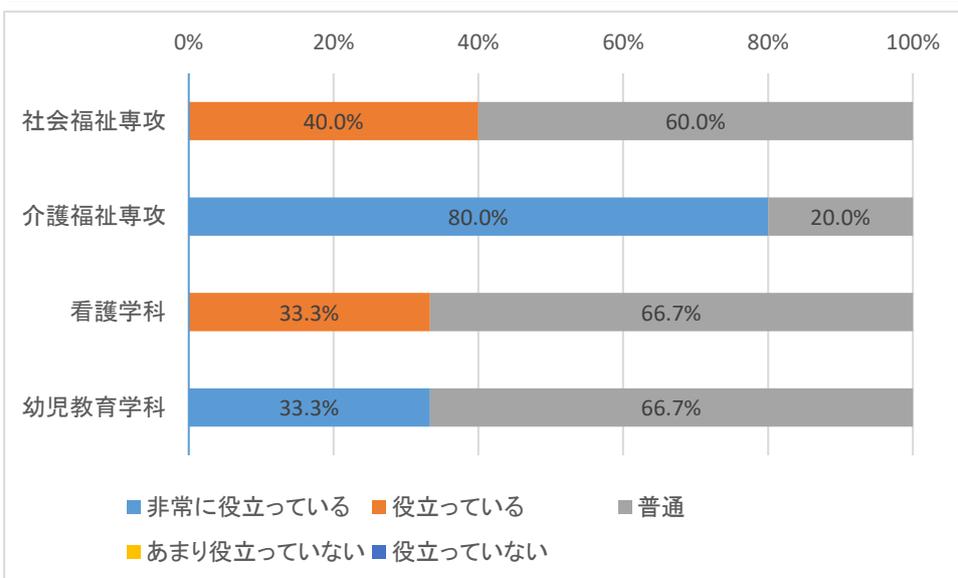
(1) 在学中、就職・進学活動を行うあなたにとって、本学の就職・進学支援体制はいかがでしたか？

	回答数	%
非常に役立っている	6	31.6%
役立っている	3	15.8%
普通	10	52.6%

あまり役立っていない	0	0.0%
役立っていない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	19	100.0%



	非常に役立っている	役立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	2	3	0	0	0	5
	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	4	0	1	0	0	0	5
	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
看護学科	0	1	2	0	0	0	3
	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	2	0	4	0	0	0	6
	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



(2) 就職サポートへの要望を教えてください。

【幼児教育学科】

- ・先輩方の話や、さまざま保育方法について在学中に学べば、進路の幅が広がりそう。
- ・1年目の人の話をもっと聞きたかった。
- ・可能なら県外の求人もあったらよかった。

5. 卒業後のサポート

(1) 今後受講してみたい講座、セミナーや、開催して欲しい行事・イベントなどあれば自由にお書き下さい。

【社会福祉専攻】

- ・卒業生と在学生との交流とかしてほしい。相談援助の講座と障がい者の講座に参加してみたい。

【介護福祉専攻】

- ・移乗介助、利用者さんとの関わり方の講習

6. 「学生時代にもっとこうしたいほうが良い」という後輩へアドバイスがあれば教えてください。

【社会福祉専攻】

- ・人と積極的に関わることを大切にしてください。
- ・これから、勉強や学生生活をしながらやりたい自分や目指したい目標を明確にしておいた方がいいかなと思います。ボランティアや施設の行事の手伝いなど短大以外で学べるのがいっぱいあるので自分なりの方法で力をつけて下さい。でも、無理はしないようにほどほどで。今の学生生活を大切に過ごしてください。
- ・パソコンのスキル（特に Excel）は割と大事なので、苦手な人も触ってみる機会を増やしてみると良いと思います。
- ・実習は行ったほうが良いと思います。
- ・ボランティア活動は積極的にしたほうが良いです。特に就職したい施設のボランティアには積極的に参加しましょう。

【介護福祉専攻】

- ・就職先は必ず自分の望んだ施設になるわけではないと思うので、法人だったら全部の施設見学だけしておくのも1ついいかなと思います。実習でも行ったことない、見学もしていない施設で働くことになった時は緊張したし不安になりました。見学だけでもしておいてこういう施設なんだな、こういう施設もある法人なんだなって知っておくと急に不安になることは減ると思います！
- ・レポートをしっかり書けば良かった。
- ・国試とか授業も頑張りつつ今しかない学生生活を楽しく悔いなく過ごしてください
- ・学生生活を楽しむ。
- ・実技の練習をたくさんした方がよいと思います。

【看護学科】

- ・働いてもずっと学ばなくてはいけないので、自分にあった学習方法を早めに見つけることをおすすめします。
- ・進学したい希望を早めにADに伝え、相談する。AD以外でも相談しやすい教員に相談する。
- ・講義や実習で学んだことは、看護師になってとても役立つと思うので、一つ一つしっかり学んで欲しいです。

【幼児教育学科】

- ・就職先を、どこがいいか決まらないから実習に行ったしここでいいや。っていう決め方は絶対に良くないと思うので、ほんとに自分が働きたいと思った園や職場を選んでくださいね😊
- ・いっぱい教材作りましょう。
- ・興味のある仕事について、とことん調べる。訪問する。「まず、行動する」

- ・就職先はしっかり考えるべき。焦ったらダメだと思います。
- ・提出物が多いからすきま時間みつけて終わらせたいと思う
- ・実習だけでなく、アルバイトやボランティアで自主的に子どもと普段から関わり、現場の先生から知識を盗みにいく事を意識したら良い。

7.考察

【社会福祉専攻】

- ①回答が5名と少ないが、「2. 講義全般」「3. 実習」「4. 就職・進学支援体制」のいずれにおいても、他学科専攻より「非常に役立っている」と回答した卒業生が少ない結果となっている。2年間で様々な福祉分野について学び、就職先ですぐに活かされる知識や技術の量が少ないことや、就職先も幅広いことが影響していると考えられる。
- ②今後は、授業の中に就職して役立つ実践的な内容を入れたり、現場のことを学ぶ機会として卒業生との交流の機会などを作ることが必要である。また、「6. 学生時代にしておいたこと」で卒業生も書いているが、ボランティア活動への参加を促すことも大切である。
- ③キャリア支援について、今年度は就職・進学が決まって2年生から1年生に対して、体験を話してもらう時間を設けた。このような時間は次年度も設けていきたい。

【介護福祉専攻】

- ①回答者数が5名と少ないため全体的な考察ではないが、回答者が現場で役立つと考えている、または求められていると感じているのが移乗介助などの身体介護のための技術のようである。そのため生活支援技術の演習授業や介護実習が役立ったと回答している。もちろん手技的な基礎的技術は必要であるが、就職先アンケートの回答からも「倫理観」「コミュニケーション力」「問題解決能力」が求められていることもあり、どの授業においても含まれているこれらの要素を、今後も重要な概念であることとして教育していく必要がある。
- ②就職活動に関する支援についてはおおむね役立っているといえる。ただし後輩へのメッセージとして、希望先法人内に複数の施設がある場合は、事前に見学をしておいた方が良いと記述があることから、就職活動における施設訪問の際の助言としたい。

【看護学科】

- ①回答者は少ないが、講義が「非常に役立っている、役立っている」「講義や実習で学んだことは、看護師になっても役立つと思うで、一つ一つしっかり学んで欲しい」と答えており、現場と乖離のない授業が行えていると考えられる。
- ②「働いてもずっと学ばなくてはいけないので、自分にあった学習方法を早めに見つけてほしい」と記載されており、医療の場の厳しさが伝わる一方で、本学のつくり、つくりかえ、つくるが育っているとかがえることができる。そして、「進学したい希望を早めにADに伝え、相談する。AD以外でも相談しやすい教員に相談する。」などの回答は本学のAD制度の長所、学生にとって教員は身近な存在であると実証できる。さらに、実習も「様々な実習先に行けて良かった」と答えている。「就職してからは自身の勤め先の状況しかわからず、学生時代に多様な実習先を経験できることは、広い視点で患者の状況を考えることができると示唆できた。

【幼児教育学科】

- ① 学生時代に身につけた具体的な保育技術、また、作成した教材が現場で役に立っていることがわかる。手遊びやエプロンシアター、パネルシアターなどの技術を実習指導や関連科目で学び、また、レパートリーを増やすことが今後も重要。
- ② 実習指導や保育教職実践演習等で実施する模擬保育が役に立っていることがわかる。仮の指導案を立て、模擬的に実演するという内容が、現場での実践に効果的な橋渡しとなっている。
- ③ 例年と比べ、乳児保育や子どもの保健系の科目を挙げる卒業生が少なく、かわりに、障害児保育系の知識が重要とするコメントが多くなった。保育所等で障害児の保育実践に即応することが求められていること、また、近年、放課後等デイに就職する学生が増えていることがその要因であろう。現行の科目が、現場で要請される授業内容となっているかの検証が必要。
- ④ 今年度も、学外実習体験自体を重視する指摘が複数あった。実習体験が濃密なほど、実践でやっていける実力がついていくことが推測できる。実習中の意識を高める指導が今後も必要である。
- ⑤ 担当保育者として、状況に応じた適切な考え方や対処に戸惑う姿も読み取れる。保育や教育の本質の理解、発達の知識、考える力や判断力などの総合力が問われている。それぞれの授業における授業方法の検証、工夫が必要である。